

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 16 日 (2006.3.16)

【公表番号】特表 2005-521781 (P2005-521781A)

【公表日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【年通号数】公開・登録公報 2005-028

【出願番号】特願 2003-582243 (P2003-582243)

【国際特許分類】

C 0 9 J 151/00 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 11/08 (2006.01)

C 0 9 J 171/10 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 151/00

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 11/08

C 0 9 J 171/10

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 19 日 (2006.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) i) 非第三級アルコールのアクリル酸またはメタクリル酸エステルと、
i i) ペンダントスチレン系ポリマー部分と、を含む少なくとも 1 つのコポリマーと、
b) ポリアリーレンオキシドポリマーと、
を含有するポリマー混合物を含む、感圧接着剤組成物。

【請求項 2】

(a) (i) A が、非第三級アルコールのアクリル酸またはメタクリル酸エステルモノマーであり、前記アルコールは、約 1 ~ 約 14 の炭素原子を有し、かつ

(i i) B が、一般式 $X - (Y)_n - Z$

(式中、

X は、前記 A モノマーと共重合可能なビニル基であり、

Y は、二価連結基であり、n は 0 または 1 であってよく、

Z は、約 2, 000 から 30, 000 の範囲の分子量を有し、かつ共重合条件下で本質的に非反応性である一価スチレン系ポリマー部分である) を有するモノマーである、共重合された A および B モノマーと、

(b) 少なくとも 1 つのポリアリーレンオキシドポリマーと、
を含む感圧接着剤組成物。

【請求項 3】

感圧接着剤発泡体物品の無溶媒製造方法であって、

a) i) 1) 非第三級アルコールのアクリル酸またはメタクリル酸エステルと、

2) ペンダントスチレン系ポリマー部分と、を含む少なくとも 1 つのコポリマー

と、

i i) ポリアリールオキシドポリマーと、を含有するポリマー組成物を提供する工程と、

b) 前記ポリマー組成物が実質的に分解することなく、そのガラス転移温度より高い温度まで前記ポリマー組成物を加熱する工程と、

c) 前記ポリマー組成物を混合する工程と、

d) 膨張性ポリマーミクロスフィアの活性化温度より低い温度まで前記ポリマー組成物を冷却した後、膨張性ポリマーミクロスフィアを添加する工程と、を含む方法。